



2021年10月

# カレンダーアウトLOOK

今月の外為マーケット動向

WesternUnion \\WU

Business  
Solutions

# USD

ジョー・マニンボ、カレンシーストラテジスト - 北米

## 10月イベント

1日 金曜日	コアPCE価格指数
5日 火曜日	ISM非製造業購買担当者景気指数 (PMI)
8日 金曜日	非農業部門雇用者数
13日 水曜日	消費者物価指数 (CPI)
14日 木曜日	生産者物価指数 (PPI)
15日 金曜日	小売売上高
28日 木曜日	第3四半期GDP (事前推定値)
29日 金曜日	ミシガン大学消費者信頼感指数

## 9月のレビュー

米連邦準備理事会 (FRB) は、予想より早い金利引き上げを予定するとともに、経済刺激策を「まもなく縮小する可能性がある」と示唆した。これを受け、米ドルは年初来の高値近辺にとどまった。FRBは、パンデミックからの米国経済の回復が続いている点を確認し、年末までに刺激策のテーパリングを開始する可能性を示した。テーパリングの開始時期について市場は明確な見通しを持っていないが、FRBによれば2022年中頃には長期貸出金利を抑制するためのプログラムが終了する可能性がある。

- 8月の労働市場は、雇用者増加数が過去7カ月で最低となる235,000人とどまり、予測を500,000人近くも下回る後退を見せた。
- 雇用拡大ペースは減速したが、過去3カ月の雇用者増加数は月平均750,000人と好調であり、失業率はパンデミックが始まって以来の最低水準である5.2%に低下した。
- 8月の消費者物価上昇率は、年率5.3%と前月よりわずかに下落したが、2008年以降の最高水準近辺にとどまった。小売売上高は、8月の消費支出が予想外の0.7%の上昇を見せるなど底堅い様子だ。

## 10月の見通し

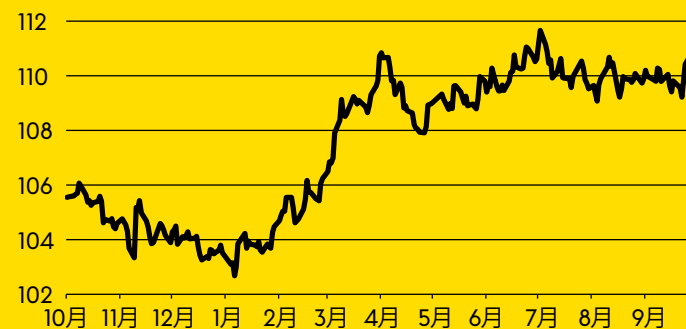
米国の雇用市場の動向は、米ドルとFRB政策の両方にとって最大の鍵となる。雇用市場が9月に急回復すれば、FRBが経済刺激策の縮小に動くとの期待が高まるだろう。中国経済の鈍化や中国の不動産開発大手「恒大集団」の経営破綻についての懸念が生じる中、米ドルは米国の好調なファンダメンタルズや安全な逃避先通貨への資金流入から恩恵を受けてきた。

- 非農業部門雇用者数は、米ドルとFRB政策の短期的な動向を予測する上で重要な指標となる。
- 現在は堅調な米ドルにも脆弱な点があり、米国経済がさらなる減速の兆候を見せ始めた場合、これまでの上昇がリスクにさらされるだろう。
- 年初来のドル指数は約4%上昇した。

## 経済データ

基準金利:	0-0.25%
GDP (年率):	6.6% (第2四半期)
インフレーション (年率):	3.6%
失業率:	5.2%
貿易収支:	701億ドル (赤字)

## ドル/円 (直近一年)



## 10月イベント

1日 金曜日	インフレーション (速報値)
4日 月曜日	EU復興計画に関するユーログループ会合
6日 水曜日	小売売上高
7日 木曜日	ECB議事録
12日 火曜日	ドイツZEW指数
22日 金曜日	PMI調査 (速報値)
28日 木曜日	金融政策決定
29日 金曜日	インフレーション
29日 金曜日	第3四半期GDP (速報値)

## 9月のレビュー

ユーロは、金融市場が概ねリスクオフのままだったことから、厳しい夏を経た後の9月もあまり回復しなかった。8月下旬には上昇局面があったものの、中国第2位の不動産開発会社「恒大集団」の経営危機が報じられると投資家が神経質になり、上昇はすぐに終わった。加えて、欧州中央銀行 (ECB) と他の主要中央銀行との間における金融サイクルの格差拡大が、ユーロに圧力を掛けた。また、ECBはパンデミック対応の量的緩和プログラムをわずかに修正したが、投資家には歓迎されなかった。

- ECBは、パンデミック緊急購入プログラム (PEPP) で毎月購入する資産の額を減少させると発表したが、具体的な減少額などの詳細については明らかにしていない。
- 9月24日、ユーロ圏株式指数 (STOXX 50) は過去8カ月で初めて月次成績がマイナスとなり、2020年10月以降最大の下落幅 (-2%) を記録した。
- ユーロの対米ドル相場は1.17ドルを下回り、過去12カ月で最低の水準となった。対円相場も128円と、2月以降の最低水準まで下落した。ユーロは英ポンドに対しても引き続き低迷している (0.86ポンド)。

## 10月の見通し

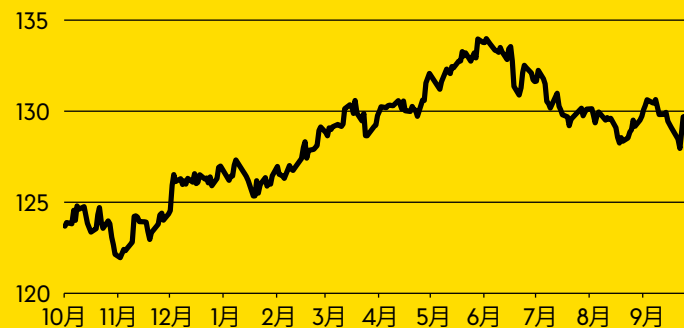
季節が変われば、ユーロも新たな展開を見せるだろうか？ ユーロは夏に大幅下落したが、ECBと他の主要中央銀行との間における金融政策の全般的な格差は既に織り込まれていることから、ダウンサイドの可能性は最小限と見られる。また、欧州のインフレ率上昇に関するECB内での議論の高まりにも注目すべきである。おそらくユーロにとって短期的にはポジティブ要因となるだろう。ただし、全世界のセンチメントが改善しない場合、ユーロ需要は低迷を続ける恐れがある。投資家は、中国の不動産開発大手「恒大集団」の破産リスクやドイツ新政権に対する市場の反応を引き続き注視していただく。

- 中国不動産市場の混乱がグローバル金融市場に波及すると懸念が、ユーロの足かせとなる可能性がある。市場での大量売りが発生すれば、ユーロも軟化するだろう。
- 8月のインフレ率が過去10年間で最高の3%に達したことから、ECB内では超緩和的金融政策からの早期脱却に賛成する声もある。
- EUを支え、協力を推進してきたアンゲラ・メルケル独首相の引退により、パンデミック後の世界における欧州のリーダーシップがどうなるか問われることになる。

## 経済データ

基準金利:	0.0%
GDP (年率):	14.3%
インフレーション (年率):	3.0%
失業率:	7.6%
貿易収支:	207億ユーロ

## ユーロ/円 (直近一年)



## 10月イベント

**8日**  
金曜日  
Caixin製造業購買担当者景気指数 (PMI)

**13日**  
水曜日  
貿易収支

**18日**  
月曜日  
GDP

**18日**  
月曜日  
鉱工業生産

**18日**  
月曜日  
小売売上高

**20日**  
水曜日  
ローンプライムレート

## 9月のレビュー

中国人民元は、米ドルに対し概ね過去3カ月のレンジ内での取引が続いているが、9月はこのレンジ内でのボラティリティが上昇した。不動産開発大手「恒大集団」の債務返済能力についての懸念が生じる中、人民元は同社に関する不確実性の影響を受けた。

この懸念により中国人民元は軟化し、米ドル/人民元相場は過去2カ月の最高水準に近づいた。

しかし、9月下旬になると、恒大集団は9月に期限を迎える債務を返済できると発表し、人民元は上昇した。

- 鉱工業生産 (年率5.3%) と小売売上高 (年率2.5%) のいずれも先月の予想を下回るなど、中国の経済データは概ね弱含みである。

## 10月の見通し

9月の恒大集団に関する緊張は、影響が世界的に拡大するという恐怖を引き起こした。その後、市場は9月中に平静を取り戻したが、リスクは依然として残っている。

こうした緊張が高まったため、中国人民銀行は市場に介入し、流動性を供給せざるを得なかった。

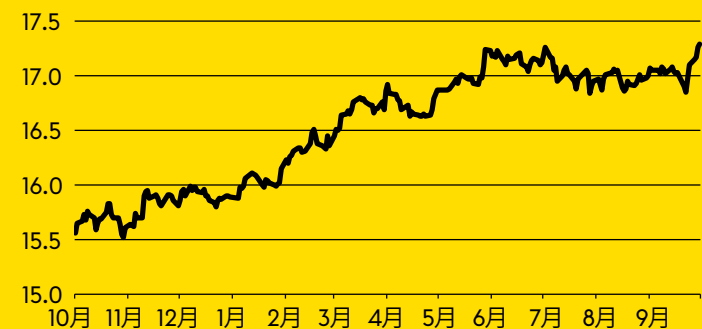
しかし、恒大集団が存続の危機にさらされた場合、中国政府がどの程度支援するかは大きな疑問として残っている。特に、習近平国家主席が投機的な不動産事業に対する強硬姿勢を強めていることから、予測が難しくなっている。

- 中国経済は最近鈍化しており、モメンタムの喪失を裏付けるさらなる証拠が出るかどうかについて、今月発表される7~9月期GDPが注目を集めるだろう。

## 経済データ

基準金利:	3.85%
GDP (年率):	7.9%
インフレーション:	0.8%
失業率:	5.0%
貿易収支:	583億ドル

## 人民元/円 (直近一年)



# Don't let the currency market detract from your bottom line.

WesternUnion  WU

Business  
Solutions

©2021 Western Union Holdings Inc. All rights reserved.

ウエスタンユニオン・ビジネス・ソリューションズは、ザ・ウエスタン・ユニオン・カンパニーの事業部門です。ウエスタンユニオン・ビジネス・ソリューションズ・ジャパン株式会社(「WUBSKK」)を通じて日本で事業を展開しています。

Western Union Business Solutions (Australia) Pty Limited(以下「WUBSA」)は、楽天銀行に対しWUBSKKが提供するサポートサービスを提供しております。WUBSA & WUBSKKを合わせて「WUBS」といいます。

楽天銀行は、顧客に対してWUBS同等の外国為替および決済サービスを提供することができます(ただし楽天銀行のサービスを利用した場合も当該顧客がWUBSの顧客とはなりません)。本資料カレンダーアウトルックは受領者の一般的な情報収集目的のためにのみ作成されたものであり、WUBSに対するいかなる責任も拘束力も持たないことを確認し、同意することを前提に、本資料を本契約に記載される情報に対する真のビジネスニーズを有する可能性のある顧客と共有することを楽天銀行に許可したものです。情報は十分に注意して作成されていますが、WUBSはその正確性を保証しているものではありません。楽天銀行の顧客は、本資料に記載されている情報を取扱う前に、独自に確認をしてください。WUBSと楽天銀行との関係は、契約に準拠しています。WUBSと楽天銀行の顧客との間には契約関係はありません。 762095260-2021-10